

第3回東金市総合計画審議会 会議議事録（要旨）

日 時：令和2年9月16日（水）14:00～15:55

場 所：東金市役所 5階会議室

【議事内容（要旨）】

1 開会

- ・事務局（企画課副課長）よりあいさつ

2 委嘱状交付

- ・事務局（企画課副課長）より新委員の紹介

3 市長あいさつ

- ・鹿間市長よりあいさつ

4 会長あいさつ

- ・会長よりあいさつ

—市長退席—

—企画政策部長より事務局紹介—

5 議題

(1) 東金市第4次総合計画（総論編・基本構想編）案について

発言者	内容
会長	・前回から時間が空いているので、議事に入る前に策定経過や今後の進め方について説明願いたい。
事務局 （企画課長）	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言もあり、会議が開催できなかった状況だが、その間、庁内で議論を進め、本日構想案をお示しする。 ・今回の審議会と市議会の意見を受け修正を加えたものを次回10月に予定する第4回の審議会においてお示し、基本構想部分の答申をいただきたい。 ・その後、基本計画部分については、当初の予定どおり来年の1月を目途に答申いただけるよう準備を進めていく。
会長	・今回は前回検討中であった、将来像とまちづくりの柱が示されている。その部分を中心に審議いただきたい。 ・ではまず、東金市第4次総合計画「総論編」について事務局より説明を。
事務局	（「資料1 東金市第4次総合計画 総論編・基本構想編（案）」の

発言者	内容
(企画課企画係長)	「総論編」について説明)
会長	・以上について、何か質問、意見があれば。
委員	P21 農業関係者との意見交換会の参加人数が少ないが、参加者の募集方法について、各ブロックの代表のみ参加しているのか、全体を対象に参加者を募っているのか。
事務局 (企画課長)	・東金市農業振興会という組織を構成する部会の部会長に依頼をかけている。参加者は少ないが、農業の各関係者に意見を伺った形。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P25. 26 策定市民会議や若手職員プロジェクトも他の意見交換会同様に会議の回数等詳細を記載すべき。また、“提言”とあるが“提案”であるものも多くあるので、他の意見交換会と同列に考え、タイトルの修正等が必要であると考え。</li> <li>・ コロナ感染症が流行したあとの記述がない。例えば策定市民会議をもう1度開催して、感染症以後の状況変化を記述できるという。</li> <li>・ P30 課題4の文章4行目。リスクを並べていって、それらのリスクにこういう体制で取り組んでいくという形にすると読みやすくなる。例えば、「近年の大規模災害の発生や犯罪被害リスクの高まり、“それに加えて新型コロナウイルス感染症…”」</li> <li>・ P28 将来人口について、令和12年で約5万5千人としたことについて説明願いたい。</li> </ul>
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P25 策定市民会議について、期間等の記述がなかったので追記する。</li> <li>・ P25. 26 のタイトルについては、他と同列に意見交換という形で統一する。</li> <li>・ P30 きめ細かな福祉と安全安心なまちづくりの部分で、急遽新型コロナウイルスについて記述を追加したが、文脈に合わない部分もあるので精査する。</li> <li>・ P28 将来人口について、国立社会・人口問題研究所の推計では、このまま何もしなければ令和12年に5万4千人と推計されるが、第4次総合計画期間に施策を行っていく中で、推計より千人増の5万5千人を目指すというもの。</li> </ul>
会長	・いかがでしょうか。これについては修正を含めて検討いただくということと、答弁の中で納得いただいたものを切り離して対応をお願いしたい。
委員	・東金市の総合計画なので、形式は東金市が決定すべきだが、P12からP26までは資料編という感覚であり、基本構想・基本計画とは話のレベルが違うという感想。

発言者	内容
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東金市の置かれた状況含め総論という形でまとめた。本編は基本構想・基本計画・実施計画という構成となり、市民意見等置かれている状況は最初の序章部分に置いたが、ご指摘のあったように資料編とするかは最終的な編纂の段階で分けできればと考えている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民意見等は資料編にまとめた方が落ち着きが良いという考え方もある。一方で、たくさん意見を賜って策定したという東金市の強い思いもある。どのように整理するかは、構想を整理していく中で自然とみえてくるものだと思うので、このことに関する議論はここまでとさせていただいてよろしいか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>総論編についてはここで一旦切らせていただいて、基本構想編について事務局より説明願います。</li> </ul>
事務局 (企画課企画係長)	<p>(「資料1 東金市第4次総合計画 総論編・基本構想編(案)」の「基本構想編」について説明)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日のメインテーマ。活発な議論をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>P32 将来像の考え方の文章中に、「中世以降房総半島の…」とある。よく家康が来てからの歴史がいわれるが、季美の森辺りの発掘調査データをみても、東金は古代からこの地域の中心であったことがわかるので、“中世以降”を“古代より”に修正したらいかがか。また、交通の要所というところは、交通だけでなく、文化という文言をいれてはどうか。</li> <li>P33 IIの部分で、山武郡市という記述を山武地域にしてはどうか。</li> <li>P38 学校教育の充実の部分で、今東金市でも予算組をしている小学校から中学校まで一人1台パソコンというGIGAスクール構想に触れてもいいのではないか。</li> <li>P39(2)この文章だけみると、森林所有者が今までと同じように山武杉を管理していくだけで終わってしまう。財源的なところでは森林譲与税が使われる部分であるので、多くの市民の方々に森林の大切さ、自然の大事さを広く知らせる啓蒙活動も含めるような記述も加えてはいかがか。</li> <li>P42 東金は博物館、美術館等の資料館がない。(2)に東金文化会館の有効活用とあるが、この書き方のままだと、東金に資料館は必要ないので、文化会館の展示室を有効活用していくというような誤解が生じる恐れがある。記述の仕方について検討願いたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>これについて、事務局いかがか。</li> </ul>
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>P32 東金市は古代から貴重な文化財が発掘されている状況。「中世以降」という部分は改める方向で検討する。また、交通のみな</li> </ul>

発言者	内容
	<p>らず文化の中心であったので、その部分も取り入れていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P33 IIの山武郡市は山武地域に修正する。</li> <li>・P38 G I G Aスクールの記述については、庁内協議の上、基本計画で記述することと考えているが、ご意見を受けて、再度検討する。</li> <li>・P39（2）昨年度より森林環境譲与税が入り、それを活用した森林整備、また市民への涵養を行っていくことのPR周知活動を今後始めていくとのこと。市民に愛される森林施策という部分を文言としていれるか否か検討する。</li> <li>・P42（2）現状文化会館の一部を使って文化財の展示を行っている。今後10年の計画であるので、更なる展示の手法等庁内で協議して記述を追加する方向で検討したい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回、より具体的な施策について記載する基本計画を見据えながら基本構想に反映していくことは必要という話をした。基本構想の段階でどこまで記載するのかということに関しては、色々意見があると思うが、場合によっては基本計画に記載した方が落ち着きが良い場合もあるので、一般論として参考までに申し上げる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指すべき将来像の部分で、キャッチフレーズにカッコ書きを入れるのはおかしい。MyCityの説明は、下部の説明文書内で記載すれば良い。</li> <li>・将来人口を5万5千人と設定することはいいが、これについては5年ごとの基本計画策定の段階で見直せるような書き込みをした方が良い。現行の基本構想は7万5千人に設定したまま修正出来なかったため、実際と大きな開きが出てしまった。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2点の意見があったが、これについて事務局いかがか。</li> </ul>
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指すべき将来像については、庁内においても、解説部分に説明があればキャッチフレーズにカッコ書きは不要との意見が多くあるので、カッコ書きを削除する方向で検討する。</li> <li>・将来人口については、構想の段階で10年後の人口を設定するが、社会状況の変化等で柔軟に対応することも必要と考える。計画人口との乖離が大きいと不都合な部分もあるので、基本計画策定の段階で実情に応じた修正を加えるという文言を追加する方向で検討する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜMyCityということにしたのかお聞きしたい。</li> </ul>
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東金市の若手で構成した東金市総合計画若手職員プロジェクトにおいて、今後10年を担っていく若手として、住んでる方に愛着を持って暮らしてもらいたいという強い思いがあって出てきたフレーズである。また、市民の皆様の意見としても東金市に愛</li> </ul>

発言者	内容
	着を持っている方が多かったことも踏まえ、今回はこの MyCity というフレーズが適切と判断した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的にはここで何故英語が出てくるのか疑問だが、若手職員の思い、また将来的に国際都市を目指していく意識ということで理解したい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>先ほどの委員の将来人口に関する意見について、構想段階での外れな数字ではないとすれば、推計とのズレは個別の計画で見直しをする手もあると思う。この点については、事務局で再度検討し、後日報告いただく形でいかがか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年後の段階で、見直しの必要がなかったらそのまま構わない。今年度国勢調査を実施しているので、また社人研の数字も変わるが、そこで大幅に減少になった場合等は見直す必要も出てくると思う。そのような場合に、対応できる内容を記載しておいた方が良いと考える。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>社人研の推計はその時々トレンドを取り入れて変更することが許された推計であるので、それを東金市の基本構想、基本計画でどのように取り入れるか。構想で謳う将来人口を変更するのはなかなか難しいことだが、それらを含め事務局には検討願いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>10年後は団塊の世代が後期高齢者に入り、人口減少が強く言われる時代であるので、人口問題は今まで以上に重大な問題になる。今の書き方は、“設定します”としているが、“目指します” “目標として設定します”等、言葉にゆとりを持たせると人口の変化に対応しやすいのではないか。また、説明文で、これからは非常に人口が厳しい時代になるというような説明を入れるか入れないか。この辺は事務局で構想部分に書き込むか否かを検討願いたい。</li> <li>人口が5千人減少するということが市政全般にどのように影響するか。高齢化が住宅地域の方にいくのか中心なのか等の記載が構想で触れられるのか。分析が十分でない状態で記載するのは難しいが、これから議会に説明していくと色々問われることもあるので、その辺も意識しておく必要がある。議会等説明時には、ただ10年後の人口5万5千人と説明するのではなく、厳しい中で課題を解決しながら5万5千人を目指すという内容を、構想の説明の前段に入れることなども必要になる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口問題に関しては、国の外国人労働者の受入れ施策をどうみるか等、不安定要素が多分にある。であれば、委員が言うように、“設定します”と言い切るのではなく、施策の展開次第ではぶれ</li> </ul>

発言者	内容
	<p>ることも考えられるが、構想として5万5千人を“目指します”という記載にすることもあり。ご意見をいただいたので、事務局で再度検討を。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは人口減少が一番の問題。この問題について、東金市に強く求められている施策、これが人口減少につながるという施策があれば、この場で教えていただきたい。</li> </ul>
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の人口減少率については、近隣市町と比べると低い状況ではある。要因としては転出が他市と比べて少ないこと。人口を食い止めるには、転出者を減らし、転入者を歓迎することが重要と考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転出者を抑える施策とともに、転入者を維持するということが、その中で特に重要な施策は、この構想のどの部分に反映されているのか。</li> </ul>
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かな施策については、基本計画において実際の事業ベースで記載していく。</li> <li>・東金市の魅力を発信して人を呼び込むという視点で、現在コロナ、アフターコロナの状況において、都市部から地方への人の流れができており、今後さらに加速すると見込まれる。そのような中で東金市は、都市部でも地方でもないが、大学もあり一通り何でもあることをPRして、住みよいまちにつなげていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の学生が卒業後、東金市に就職すれば、東金市に住むことも増える。その点、大学として貢献できると考えるが、具体的な目標や施策がないと、理念だけでは人口を増やすことは難しいと考え質問した。</li> </ul>
会長	<p>P37 体系図に“子どもたちの今と未来を創る”とあり、教育に力を入れていくとしている。これは昔から一貫しており、過去に投資的経費を使い、城西国際大学を誘致し、結果、東金市に学生が集まるようになり、中には東金市で就職する学生もいる。また、工業団地を整備するなど、働く場所や学ぶ場所を一貫して準備してきた。具体的な施策があるべきというのはその通りだが、このような歴史を踏まえて今の議論の柱となっている。ご理解いただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画で東金市に住んでご飯が食べていけるのか。他市では移住者に対して多くの補助を行っているところもあるが、施策を打って東金市に移住してきたところで、東金市ではご飯が食べられなくて転出してしまう。交通アクセスについても、せめて東京や千葉に働きに出ても帰ってこられるようにしないといけない。どうすれば東金市に住んでご飯が食べていけるかというところ</li> </ul>

発言者	内容
	<p>を検討いただきたい。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年後の目標に掲げた東金市の将来像を達成するためには、若い世代に東金市の魅力を感じてもらわなければならない。若い世代が魅力を感じられて、安心して暮らせるまちづくりという視点を重視して、今後基本計画の中で、必要な重要施策として盛り込んでいく。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時、城西国際大学を誘致する際、財政を取り崩してまで何故誘致する必要があるのかという批判も多かったが、結果的には効果がでている。やはり、東金市を変えていくには大きな投資も必要であり、必要な投資は計画に入れていきたい。</li> </ul>
<p>事務局 (企画政策部長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のコロナ禍においては、都心部から離れた自治体に移住の問い合わせが増えていることもあり、人を呼び込むチャンスが広がっているともとれる。</li> <li>・移住者に手厚い補助をする自治体もある中、ある程度東金市に転入した場合の売り、目玉が必要だと考える。今は基本計画で目玉となる事業を研究している段階。夢がなければ人も引っ越してこないなので、全庁あげて考えていきたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想に東金市の色がない。コンサルが作成したもので、頭に他の自治体名を入れても成立するものになっている。</li> <li>・この総合計画をどのように実行に落とし込むかの方が重要。</li> <li>・東金市に今何が必要かを分析し、ひとつの組織で進めるのではなく、民間企業、議会等含め、総合的にプロジェクトを組んで、もっと具体的に考えていく必要がある。</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1点だけ申し上げると、今年度コンサルはついておらず、事務局が自前で策定している。</li> </ul>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今審議いただいている基本構想（ビジョン）、それを具現化した基本計画（プラン）で終わっては意味がなく、一番大事なのは実施計画（アクション）である。</li> <li>・実施計画では、今後取り組むべき目玉事業を多く取り入れ、実現できるようにしたい。一例を挙げると、企業誘致に取り組むとともに、既存の商工業者への支援も新たな施策として検討している。東金市の独自性を出しながら計画を進めていきたいと考える。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後事業名が具体的に出てくる段階では、それらの事業に優先順位をつけ、計画に載せた事業については、必ず予算を付け、事業実施を確約してもらいたい。</li> <li>・公務員の意識改革。企業誘致にしても、ステレオタイプの公務員ではなく、セールスマン的な意識を持って取り組んでいただきたい</li> </ul>

発言者	内容
	い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会の意見をみると、これからを担う若い世代が一番真剣に考えているように見える。これらの意見は大いに参考にしなければならない。</li> <li>・“東金市のパワー”がないと事業を出しても実行できない。東金市はパワーが出てきたと言われるような計画でないとダメ。色々な情報が集まっているので、それを東金市のパワーに変えて、具体的な基本計画をまとめていただきたい。</li> <li>・計画を作っている事務局（企画課）の職員が毎年度変わっては良いものではない。担当職員が計画に愛着（自分に任せろという意識）を持って作らないと、特にコロナが流行してしまった今は、計画策定がとても難しい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な計画については、年度内に大体方向性が出るか。</li> </ul>
事務局 （企画政策部長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想部分は年内に、基本計画部分についても同時並行で進めて年度内には完成させる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ということは、年度内はスタッフが代わることなく、本日の意見についても再度検討することなので、事務局を信じながら進めていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東金経営重点戦略ではなく、あえて東金10年のと区切って記載しているが、内容見ると話しのレベルがバラバラで読みにくい。文章では、計画期間中に“投資”と“持続的な発展”が好循環するように、経営的な視点で取り組んでいくことがいいと把握した。そうすると3行目「計画期間の10年後に将来像を叶える取組み」が“持続的な発展”の部分、そのあとが投資的な部分で、この2つを併せて柱としていると文章の方では読める。しかし、イメージ図をみると、「稼ぎ・貯める」戦略、「活かし・伸ばす」戦略と書いてあるが、“投資”と“持続的な発展”という文言が出てこない。</li> <li>・そもそも重点戦略という言葉の説明がないので、もう少しわかりやすく見直してもらえるといいかなと思う。</li> <li>・また、先ほどの説明で、基本計画で重点戦略の具体的な内容を決めていくとしていたが、基本計画は5年ごとの計画であり、そこで10年の戦略にふれるとおかしくなる。</li> <li>・もっと経営的な視点でというところを、文書化してほしい。</li> <li>・委員の話もあったが、“強みを活かす”“弱みを克服する”また内的要因、外的要因を分析するというのは、マネジメントの基本であるので、そういった視点を取り入れて、第6章の部分については、調整願いたい。</li> </ul>

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう1点伺いたいのは、しっかり実現できるのかという視点。20年前のときも座長として参加したが、企画課で事業案を出しても、担当課と調整する中で、できそうなものしか載せられなく、かなりスケールダウンしたものになった。今回はそのようなことがないように、しっかり担当課と調整してほしい。</li> <li>・また、20年前の審議会のときは、各課の部長が毎回出席していたが、今回は企画部署しかいない。これで審議会の内容が各部署に伝わるのか心配。しっかり全庁に反映できるようにしてほしい。</li> </ul>
事務局 (企画課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P45「とうがね10年の経営重点戦略」中段のイメージ図だけでは、口頭で説明を加えないと理解しにくいものになっている。意図するところは“稼ぎ・貯める戦略”と“活かし・伸ばす戦略”をうまくスパイラスさせながら経営重点戦略としていきたいということだが、そこら辺が記述としてわかりやすくなるような形で修正する。</li> <li>・基本計画策定の段階でトーンダウンする嫌いがあるとのこと。順調に進めば11月開催予定の審議会では、基本計画の審議に入りたいと考えるが、その際には各分野の重点施策の審議となるので、各部長も出席の上、審議いただこうと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔と比べ、行政に求められる仕事は複雑多岐に渡る。行政の力には限界がある。これからは市民が力を合わせて問題を解決していく意識が必要。</li> <li>・ある問題について、よく事情をご存知の方から問題提起があって、それについて市も交えて集まりの中で捌いていくような形にしないと、今までのように市が提案してきたからという意識では、今後5年10年は持たない。</li> <li>・自治会の方に市の職員が交じって、問題の抽出・解決を試みる自治体もある。各種事例を参考にどんどんチャレンジしてほしい。</li> <li>・そういった意味でP43.44の部分はもう少し手を入れてもいいかもしれない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議論で事務局が引き取ったものについては、再度検討していただき、成果物に反映していただきたい。</li> </ul>

(2) その他

発言者	内容
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他について、何かあるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の会議日程について、お配りした日程調整票をご提出いただ</li> </ul>

発言者	内容
(企画係長)	き、決定次第早急にご報告する形でよろしいか。
—異議なし—	

6 閉会

- ・事務局（企画課副課長）よりあいさつ